

遠心試料の取り付け方法

ラック・イン・ロータの場合 ①

遠心試料の取り付け方法

- ① チューブ装着穴に水滴や異物がないことを確認する。
- ② バランスをとった遠心試料をロータの回転軸に対して対称の位置に取り付ける。
- ③ ロータ内に水滴や異物がないことを確認する。
- ④ ロータのセンターにあわせてラックをまっすぐ底まで挿入する。
- ⑤ ラックが浮いていたり、ロータからはみ出していないことを確認する。

ラック・イン・ロータ用ラック適用表

ラック名 \ ロータ名	TMA-100	TMA-200	TMA-300
AR002-64	①	②	③
AR004-24	①	②	③
AR005-24	①	②	③
AR015-24	①	②	③
AR050-12		①	①
AR140-08		①	①
AR015-SC24		①	①
AR300-06		①	①
AR141-08			①
AR150-08			①
AR510-04			①
AR501-04			①
PCR96-02			①

「適用表中の記号」

—：使用不可

①：使用可能・単独で使用する

②：2段重ねて使用可能

③：3段重ねて使用可能

遠心試料の取り付け方法

ラック・イン・ロータの場合 ②

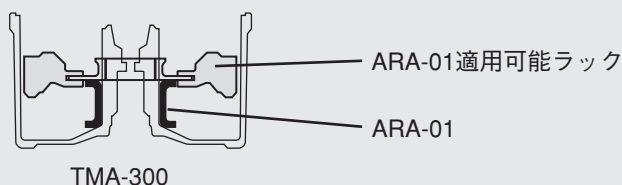
ロータラック・アダプタARA-01について

アダプタARA-01は、TMA-300ロータで下記のラックを使用する際に、ラックの位置を高くして、ラックへのアクセスを容易にするためのものです。

ARA-01適用可能ラック：AR015-24, AR002-64, AR004-24, AR005-24

正しいアダプタの取り付け方

TMA-300ロータにARA-01をセットした後、ARA-01適用可能ラック1枚を装着する。



※他の用途や、他の方法で使用しないでください。

チューブ蓋を開いて遠心する場合のラックの取り付けについて

マイクロチューブの蓋を開いて遠心する場合は、下記の事項を守ってラックを取り付けてください。

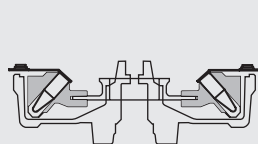
● ラックは重ねずに単独で使用する。

● アダプタARA-01を組み合わせて使用しない。

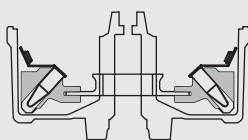
※ ラックの重ねがけやアダプタの使用により、ラックがロータからはみ出したり、ラックが斜めにかかることがあります。また遠心中にチューブのふたが遠心室ドアに接触することがあります。

ラックの正しい取り付け方

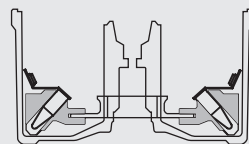
ラックを、単独で直接ロータに装着する。



TMA-100の場合



TMA-200の場合



TMA-300の場合

遠心試料の取り付け方法

ラック・イン・ロータの場合 ③

プレート用ラックPCR96-02使用上の注意

● 設定温度は 4℃以下で使用する。

高温での使用はプレートが破損する恐れがあります。遠心中にプレートが破損すると、本機を破損させる原因になります。

● プレートカバー（N801-0550Applied Biosystems社製）は高回転で使用しない。

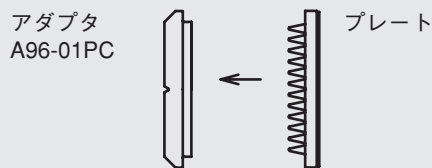
高回転で使用するとプレートカバーが破損します。高回転での使用はプレートシール等をご使用ください。

● 25℃以下の環境で保管する。

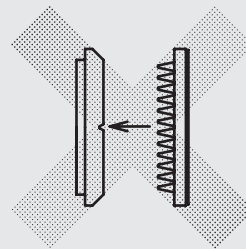
温度が高い場合TMA-300に入りにくくなる場合があります。

試料の取り付け方

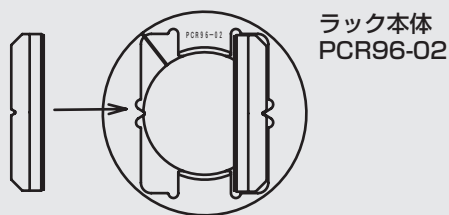
1. 試料を入れたプレートをアダプタ（A96-01PC）に正しく取り付ける。



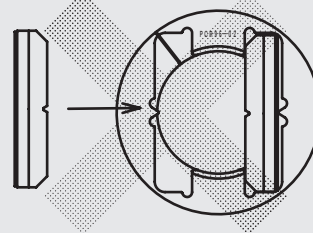
プレートをA96-01PCの裏側に取り付けない。



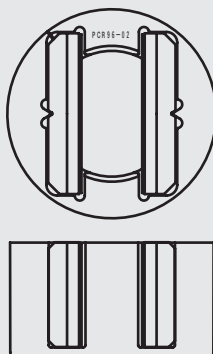
2. プレートが内側にくるようにラック本体（PCR96-02）に取り付ける。



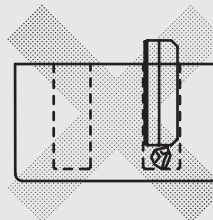
プレートを外側に取り付けて使用しない。



3. プレートが正しくラックに入っていることを確認する。



ラック内に水滴、異物が無いことを確認する。ラックからプレートがはみ出した状態で使用しない。



遠心試料の取り付け方法

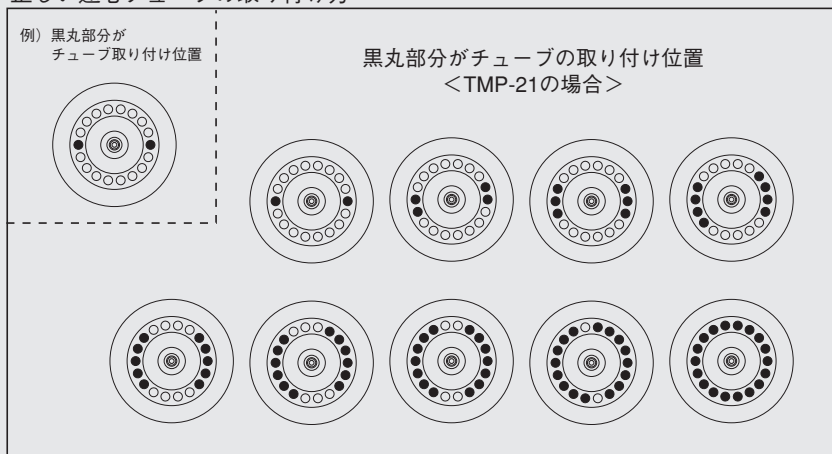
アングルロータの場合 ④

遠心試料の取り付け方法

- ① チューブ装着穴に水滴や異物がないことを確認する。
- ② バランスをとった遠心試料をロータの回転軸に対して対称の位置に取り付ける。
- ③ ロータ蓋を確実に取り付ける。

TMA-25HB, TMA-26, TMS-21, TMH-21

正しい遠心チューブの取り付け方



遠心試料の取り付け方法

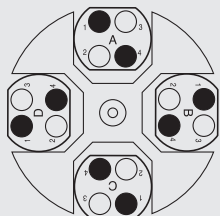
スイングロータの場合 ⑤

遠心試料の取り付け方法

- ①バケットをロータ番号にそろえて4ヵ所すべてにセットする。
- ②チューブ装着穴に水滴や異物がないことを確認する。
- ③バランスをとった遠心試料をロータの回転軸に対して対称の位置に取り付ける。
バケットの中心に対して対称になるようにチューブを配置してください。
- ④バケットがスムーズにスイングすることを確認する。
- ⑤ロータ蓋を確実に取り付ける。

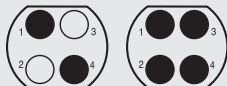
正しい遠心チューブおよびバケットの取り付け方

例) 黒丸部分が
チューブ取り付け位置

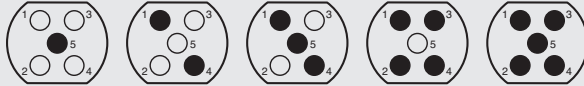


各種バケット内に取り付けるチューブ位置
(黒丸部分がチューブの取り付け位置)
<TMS-21ロータの場合>

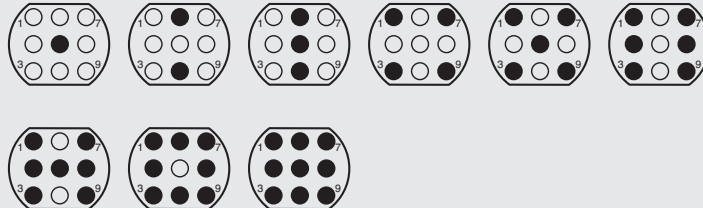
(MO415-04)



(MO406-05)



(MO404-09)



遠心試料の取り付け方法

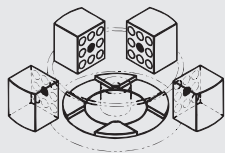
水平型ロータの場合 ⑥

遠心試料の取り付け方法

- ① ラックをロータ番号にそろえて4ヵ所すべてにセットする。
- ② チューブ装着穴に水滴や異物がないことを確認する。
- ③ バランスをとった遠心試料をロータの回転軸に対して対称の位置に取り付ける。
- ④ ロータ蓋を確実に取り付ける。

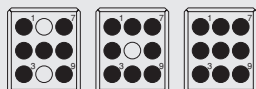
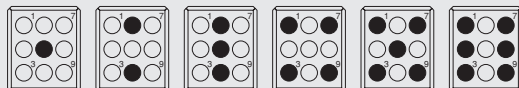
正しい遠心チューブおよびラックの取り付け方

例) 黒丸部分が
チューブ取り付け位置

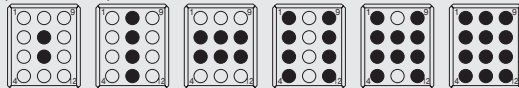


各種ラック内に取り付けるチューブ位置
(黒丸部分がチューブの取り付け位置)
<TMH-21ロータの場合>

(HR022-09)



(HR005-12)



(HR004-20)

